

2027年2月期第2四半期決算説明会 書き起こし記事公開について

2026年10月22日に開催された決算説明会の書き起こし記事を
下記URLよりご覧いただけます。

[ログミー 書き起こし原稿はこちら](#)

[YouTube 動画はこちら](#)



2027年2月期第2四半期決算説明会資料は次頁以降に掲載しております。

2027年2月期第2四半期決算 決算説明会

株式会社ミスターマックス・ホールディングス
(証券コード：8203)
2026年10月22日



●本資料に記載されている将来の業績に関する見通しにつきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が独自予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでいます。従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。また、本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

1. 2027年2月期 第2四半期 決算概要

1

第2四半期累計 業績ハイライト

- 営業収益は第2四半期過去最高の781億円、前年同期比104.5%と5期連続増収
- 荒利益率の改善により、営業利益は30億円、前年同期比109.1%と増益、計画も上回る

	26年2月期 中間期実績	27年2月期 中間期実績	前年比	27年2月期 中間期計画	計画比
営業収益	74,770	78,115	104.5%	79,000	98.9%
売上高	72,015	75,133	104.3%	76,000	98.9%
売上総利益	15,999	17,365	108.5%		
売上高比（売上総利益率）	22.2%	23.1%			
不動産賃貸収入	2,050	2,263	110.4%		
その他の営業収入	705	717	101.8%		
営業総利益	18,755	20,347	108.5%		
販売費及び一般管理費	15,948	17,284	108.4%	2,900	105.6%
営業利益	2,807	3,062	109.1%		
経常利益	2,911	3,001	103.1%		
親会社株主に帰属する中間純利益	1,895	1,937	102.3%	1,900	102.0%

1 営業利益の増減要因

荒利益高の増加

利益率の高い非食品並びに、PB商品の売上高好調に伴う増加

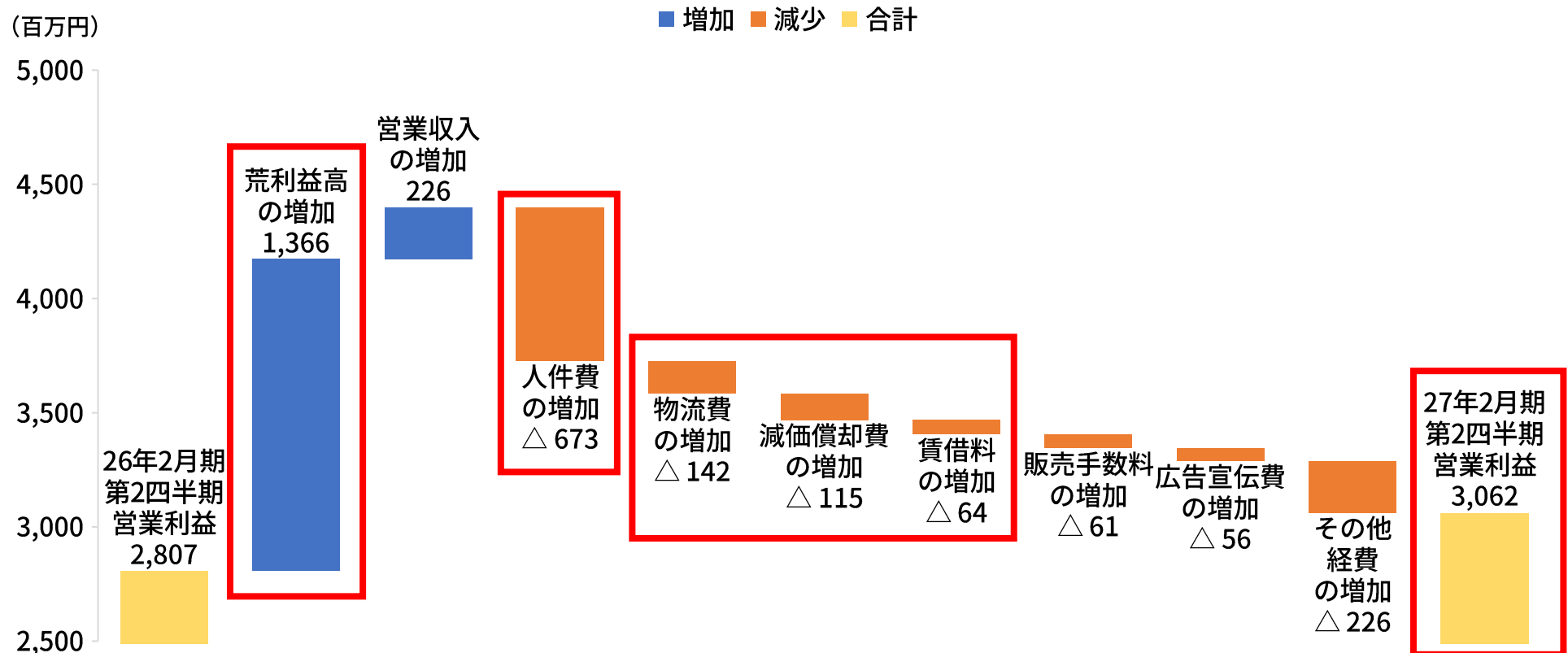
人件費の増加

賃金上昇、新規出店に伴う人員増加

物流費の増加

新規出店に伴う増加

27年2月期第2四半期 営業利益増減の要因

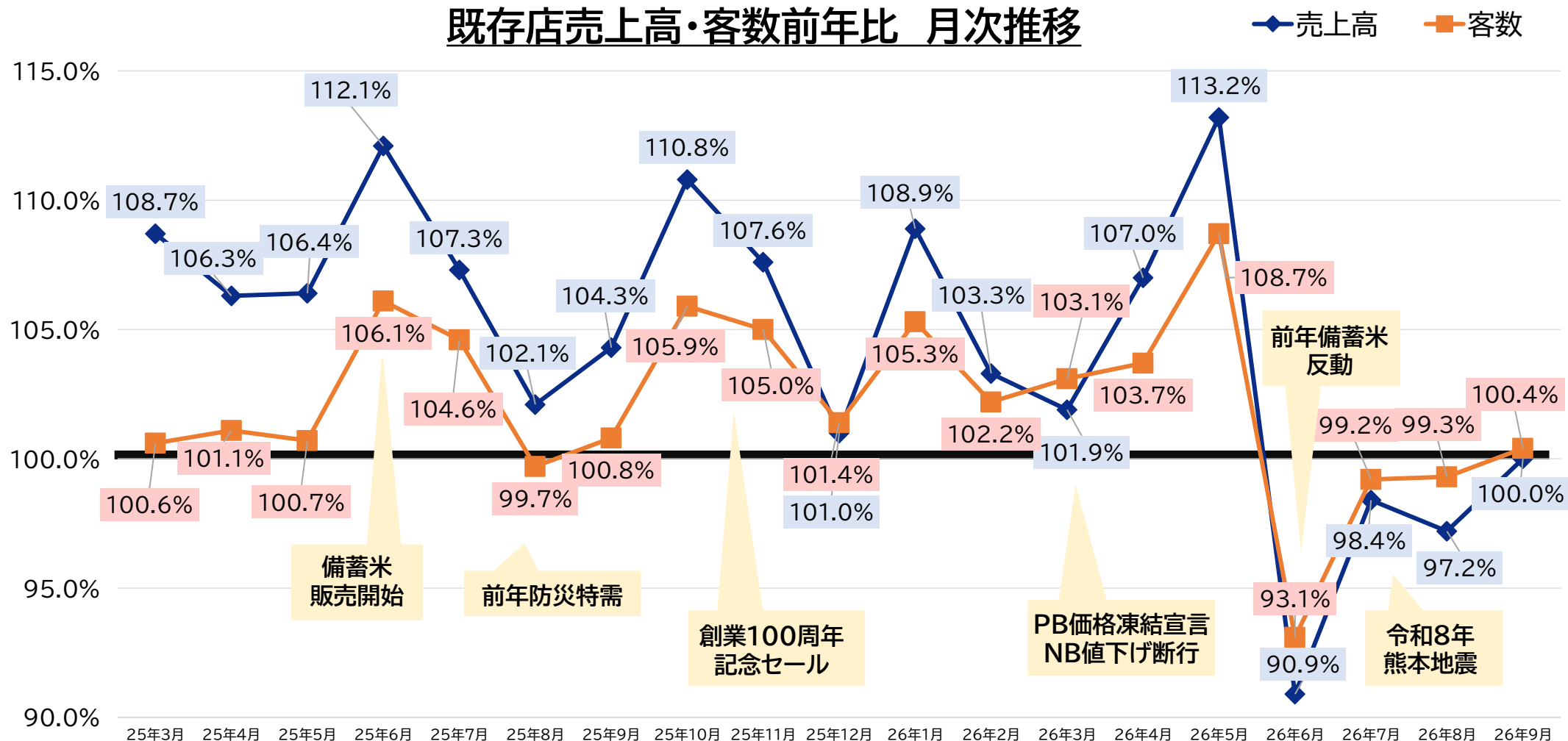


1

既存店の売上高・客数 前年比の月次推移

■6月は前年備蓄米の反動で前年割れとなるも、7月以降は客数を中心に回復基調

既存店売上高・客数前年比 月次推移



1 部門別売上高の状況

- 「2027年問題」を背景に、エアコンの売上高が伸長
- 物価高騰が続く中、ペット用品、加工食品、日配食品の売上が好調に推移
- 食品は前期の政府備蓄米の反動減の影響があった結果、前年並みにとどまった

単位：百万円	26年2月期第2四半期累計			27年2月期第2四半期累計			
	売上高	構成比	前年同期比	売上高	構成比	前年同期比	前年同期差
家電部	9,917	13.8%	104.4%	10,789	14.4%	108.8%	+872
アパレル部	3,570	5.0%	101.9%	3,736	5.0%	104.7%	+166
ライフスタイル部	9,444	13.1%	103.9%	10,437	13.9%	110.5%	+992
ホームリビング部	6,251	8.7%	105.6%	6,396	8.5%	102.3%	+144
HBC部	14,148	19.6%	103.7%	15,092	20.1%	106.7%	+944
食品部	28,868	40.1%	115.3%	28,925	38.5%	100.2%	+57
その他	△185	△0.3%	-	△244	△0.3%	-	△62
合計	72,015	100.0%	108.3%	75,133	100.0%	104.3%	+3,118

(注) 売上高は連結消去後実績

好調だった主な商品

＜家電部＞
エアコン、テレビ

＜ライフスタイル部＞
ゲーム機、シール
ペット用品

＜ホームリビング部＞
キッチン消耗品

＜HBC部＞
洗剤、紙製品
コスメ、殺虫剤

＜食品部＞
加工食品・日配

2. 「中期経営計画」 見直しと進捗状況

既存店の稼ぐ力は着実に向上。

目標修正は、出店環境の変化を踏まえた、新店の出店時期の見直しによるものです。

全社目標

売上高

当初目標 2,000億円

修正後目標 **1,850億円**

△150億円

営業利益率

当初目標 5.0%

修正後目標 **4.5%**

△0.5pt

目標の内訳

既存店

据え置き・強化

売上高 **1,600億円**（当初から据え置き）

営業利益率 **5.0%**

売上高を据え置き、営業利益率5.0%を目指して収益力を強化

新店

計画見直し

売上高 400億円 → **約250億円**

出店数 25店 → **16店舗前後**

建築コストの上昇等を踏まえ、収益性を精査した出店ペースへ

既存店の稼ぐ力を成長の原動力とし、
規律ある投資判断のもとで、再び出店拡大を図ります。

修正のポイント

1 既存店の稼ぐ力は着実に向上

売上高1,600億円に向けて着実に進捗。
荒利益率も非食品カテゴリーの強化等
により改善

2 出店環境の変化

不動産・建築コスト等の上昇が当初の
想定を上回り、投資採算基準を満たす
物件に限られる状況

3 出店基準は堅持、時期を見直し

基準を緩めることなく採算の見込める
物件を厳選。出店候補物件は当初目標
の25店を上回る水準で検討中

今後の成長ステップ

STEP 1

中計期間

既存店の稼ぐ力を高める

坪当たり売上高・荒利益率の向上、
本部費率の低減



STEP 2

中計期間

新店の採算性が高まる

既存店の収益力を新店へ展開し、
出店可能な物件が増加



STEP 3

中長期

再び出店攻勢へ

北部九州・首都圏中心部でドミナント化
、M&Aも活用した規模拡大

※詳細は2026年10月8日公表の「中期経営計画（2025年2月期～2029年2月期）の数値目標の見直しに関するお知らせ」をご参照ください。

2

中期経営計画（2025年2月期～2029年2月期）の進捗

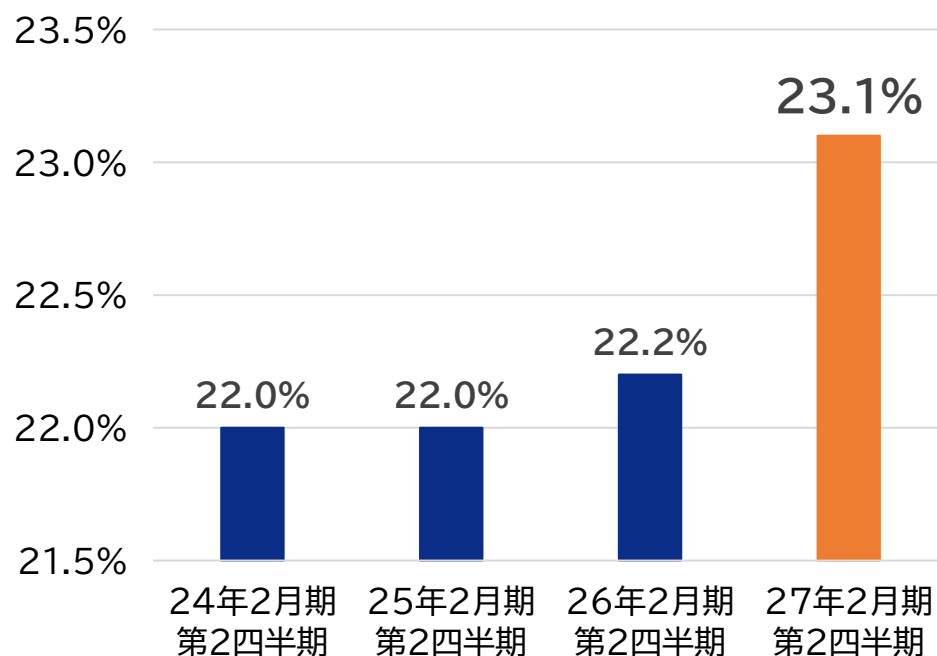
KPI	中期経営計画 29年2月期 修正後目標	27年2月期 業績予想 計画値	27年2月期 第2四半期 実績	主な取り組み	進捗	
					評価	取組状況
売上高	1,850億円	1,510億円	751億円	<ul style="list-style-type: none"> 既存品種の見直し 新品種の追加 	○	<ul style="list-style-type: none"> 強化カテゴリーの取組み 既存店改装4店舗実施
営業利益率	4.5%	3.2%	4.1%	<ul style="list-style-type: none"> 定番棚割りの見直し PBによる荒利益率の改善 DXによる生産性の向上 	○	<ul style="list-style-type: none"> 荒利益率改善の取組み 業務改善
PB売上高 構成比	30%	—	23.3%	<ul style="list-style-type: none"> PB新規品種が不足 NBとの比較購買の売場改善 	△	<ul style="list-style-type: none"> 新規およびリニューアル 開発商品で売上増
オムニチャネル 売上高	100億	—	—	<ul style="list-style-type: none"> リアル店舗+αの品揃え 実商圈を超えた集客 	×	<ul style="list-style-type: none"> 即配エリア拡大 UI/UX改善
新規出店	16店前後	7店舗	3店舗	<ul style="list-style-type: none"> 北部九州エリア、首都圏 を中心にドミナント化 	△	<ul style="list-style-type: none"> 25年2月期1店舗 26年2月期2店舗 27年2月期7店舗計画 28年2月期2店舗計画
M&A 新規事業拡大	—	—	—	<ul style="list-style-type: none"> M&Aによる規模拡大 他社物流業務の請負 海外マーケットへ進出 	×	<ul style="list-style-type: none"> 複数案件検討中

3. 今期の重点項目の状況と今後の取組について

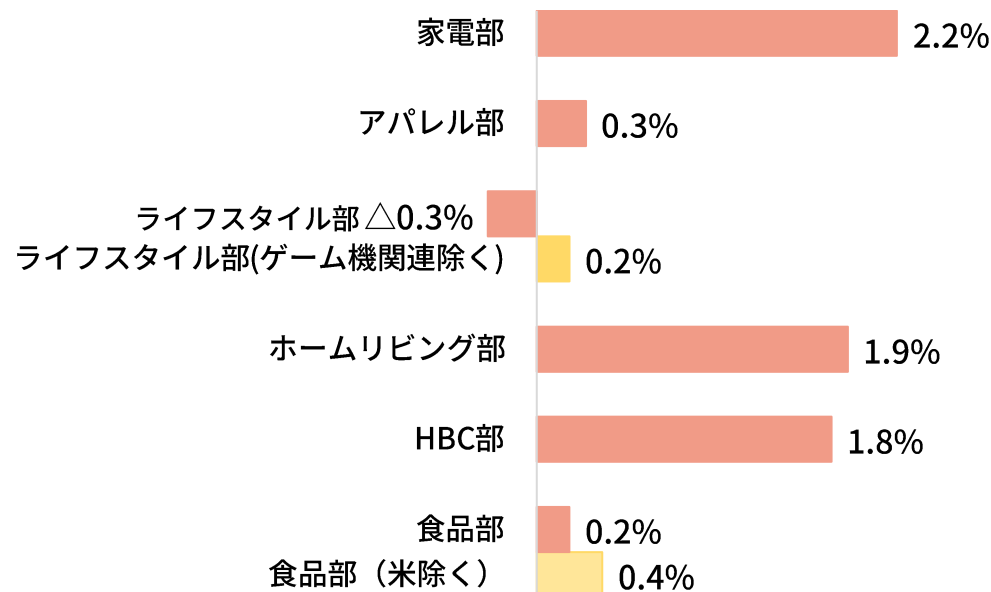
荒利益率の推移

- 適正価格・品揃え・仕入れルートの見直しにより、ゲーム機関連を除くと各部門、荒利益率は改善
- エアコンやPB商品などの、利益率の高い商品の売上拡大により、荒利益率が向上

第2四半期荒利益率の推移



荒利益率 改善率(前年同期比)



2027年2月期計画 22.3%を上回るペースで進捗

改装

27年2月期 計8店舗

上期（実績） 4店舗

八幡東店・八幡西店（福岡県）
北茂安店（佐賀県）・取手店（茨城県）

- ・ 各部門の売場面積の適正化
- ・ 補充頻度を抑えた売場づくりによる作業効率化
- ・ テナント誘致によるSC全体の集客力向上
（屋内遊園地、100円ショップなど）

下期（計画） 4店舗予定

山口店（山口県）
・ DS→スーパーセンターへ業態変更

熊本インター店・松橋店（熊本県）
・ 改装のうえ、年内に全面営業再開予定
令和8年熊本地震の被災店舗

定番改革

- ・ 圧倒的な売れ筋づくり
SKUの絞込み
強いNB品の選定
販売力の高いPB・SBづくり
- ・ 新品種へのチャレンジ

営業時間見直し

- ・ ライフスタイルの変化に合わせ、
各店舗の適正な営業時間へ
- ・ 売上高と販売効率の最大化

**Select**

Select和白店（福岡県福岡市）
3/20 OPEN /696坪

- ・ 日常品を厳選した小商圏型
- ・ 食品を中心に、家電・日用品まで揃う
- ・ 8～24時の長時間営業

**スーパーセンター**

小郡店（福岡県小郡市）
7/16 OPEN /2,107坪

- ・ 生鮮から家電までフルラインナップ
- ・ 子育て世代の多い、成長エリアで、福岡県南部のドミナント化。
- ・ 文具・玩具と生鮮の売場を広く確保

**DS**

フォルテ本庄店（埼玉県本庄市）
8/27 OPEN /1,511坪

- ・ 商業施設「フォルテ本庄」内に居抜き出店
- ・ 家電から食品・医薬品・ペット用品・衣料まで幅広く品揃え
- ・ 広域から集客しやすい立地。

店舗名	所在地	売場面積	出店形式	出店形態	開店日
MrMax Select和白店	福岡県福岡市	2,301m ² (約696坪)	Select	土地賃借 建物自社保有	2026年3月20日
MrMax小郡店	福岡県小郡市	6,966m ² (約2,107坪)	SuC	土地賃借 建物自社保有	2026年7月16日
MrMaxフォルテ本庄店	埼玉県本庄市	4,995m ² (約1,511坪)	DS	建物賃借	2026年8月27日
MrMax Select福山店	広島県福山市	2,520m ² (約762坪)	Select	土地賃借 建物自社保有	2026年10月8日
(仮称)MrMax益城店	熊本県益城町	4,350m ² (約1,316坪)	SuC	土地賃借 建物自社保有	2026年12月
NEW (仮称)MrMax陣場店	茨城県つくば市	2,968m ² (約898坪)	DS	建物賃借	2027年2月
NEW (仮称)MrMax湘南平塚店	神奈川県平塚市	4,281m ² (約1,295坪)	DS	建物賃借	2027年2月

新規出店件数

2025年2月期

1
店舗

2026年2月期

2
店舗

2027年2月期

7
店舗

2028年2月期

2
店舗

4. 2027年2月期業績予想

■ 期初予想から業績予想に変更ありません。ただし、前提条件は変更となりました。

単位：百万円	26年2月期実績	27年2月期業績予想	前期比
営業収益	147,684	157,000	106.3%
売上高	142,134	151,000	106.2%
売上総利益	31,137	33,600	107.9%
(売上総利益率(※))	21.9%	22.3%	-
不動産賃貸収入、その他の営業収入	5,549	5,650	101.8%
営業総利益	36,687	39,250	107.0%
販売費及び一般管理費	32,241	34,400	106.7%
営業利益	4,445	4,850	109.1%
経常利益	4,499	4,700	104.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,715	3,100	114.2%
【主な経営指標】			
既存店増収率	+6.4%	+3.0%	
売上高営業利益率	3.1%	3.2%	
出店	2店舗	7店舗	
閉店	なし	なし	
期末店舗数	59店舗	66店舗	
期末配当(1株当たり)(※)	27円	29円	

業績予想の前提

既存店増収率+3.0%
投資による経費増を想定

・ 新店7店舗
(期初計画4店舗から、
1Q決算発表時に+1の5店舗、
今回+2の計7店舗に修正)

・ 8店舗改装費用
(期初計画5店舗から、
熊本地震の被災した店舗の
改装3店舗を追加)

※出店増加分は、増益基調で
吸収できる見込
※熊本地震の業績への影響は、
現在精査中であり、今後の業
績予想に変更が生じた場合は、
適切に開示します。

※売上総利益率 売上総利益÷売上高



お問い合わせ
財務部IR室 青野 久枝
haono@mrmax.co.jp